

# **ライフステージに応じた 発達障害の人たちへの支援の考え方**

山梨県立こころの発達総合支援センター

本田秀夫

## **第1部 発達障害とは？**

## 発達障害とは？

- 発達に異常があるため、社会適応の問題が生じること
- 通常、成人期に達しても適応の障害が持続する

## 発達の「異常」とは？

発達が

正常でない・・・間違い 悪い

通常でない・・・少数派

## 「やらない」異常

他の子がやることをやらない:

- やりたくない
- やるべきと気づいていない
- やりたいが気後れしてできない
- 能力的にできない

## 「やる」異常

他の子がやらないことをやる:

- やってはいけないことをやる
- やらなくてもいいことをやる
- 他の子にはできないことができる

## 目に見えない異常

一見すると他の人と同じように振舞っているのに、  
他の人が考えないことを考えている:

- 興味はないが、しかたなくやっている
- やりたくないが、イヤと言えない
- わかっていないが、他の人を真似してやる

## どんな異常が気になる？

親 : やらない異常 > やる異常 > 目に見えない異常

先生 : やる異常 > やらない異常 > 目に見えない異常

見逃され、手遅れになりやすいのは、**目に見えない異常**

20c初頭

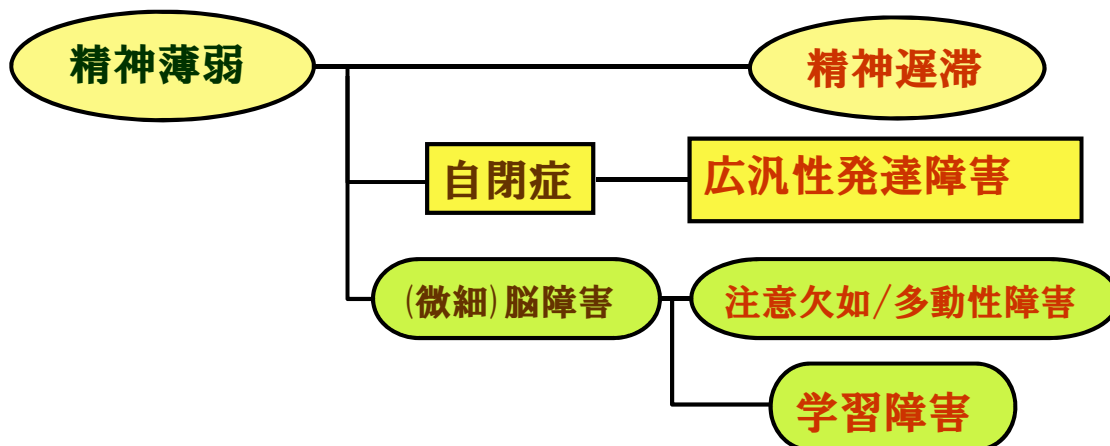
1940年代

現代

精神測定法としての  
知能検査の開発

成人の精神医学  
からの影響

児童精神医学による  
「発達障害」概念の提唱



## 「子どもの精神病」概念の分化

### 精神遅滞

- 社会適応の障害が、全般的な知能の発達の遅れのみで説明できる場合の診断
- 知能検査によって知的水準の評価がなされる
- 「知能が低い」以外、通常の人と何ら変わらない

## 精神遅滞と診断されるIQ値の目安

# IQ < 70

(成人では, 精神年齢 < 12歳7ヵ月)

## 学習障害(LD)

= 「読み・書き・そろばん」の障害

読み (reading), 書き (writing), そろばん (arithmetic)

→ 「3つのR」: 3 R's

読字障害

算数障害

書字表出障害

# ADHD

## **Attention Deficit/Hyperactivity Disorder**

： 注意欠如／多動性障害 (DSM-IV)

※ 別名,

**Hyperkinetic Disorders: 多動性障害 (ICD-10)**

3つの行動特徴:

不注意 多動 衝動

## **自閉症スペクトラム障害／広汎性発達障害**

(Autism Spectrum Disorders; ASD / Pervasive Developmental Disorders; PDD)

以下の3つの症候が組み合わさって出現:

- A. 対人交流の質が異常
- B. コミュニケーションの質が異常
- C. 限局しパターンの興味と行動

## 対人交流の質が異常

### 対人交流とは:

視線, 表情, 姿勢, 友人関係, 他人の情動に対する反応, 喜びや興味や達成感を分かちあう姿勢など

### 自閉症の人は...

ひとりを好む, 受け身な態度, 一方的すぎる, 人情に疎い

## コミュニケーションの質が異常

### 言語

話し言葉の遅れ, エコラリア(反響言語, オーム返し), 抑揚の異常, 言語指示がわからない, 会話がかみあわない, 敬語が不自然, 皮肉が通じない, たとえ話がわからない

### 非言語

身振り, 指差し, まなざし, 言外の意味, 話の文脈, などの理解ができない



## 著しい興味の限局と反復的行動パターン

特定の物に強い興味をもつ

特定の手順を繰り返すことにこだわる

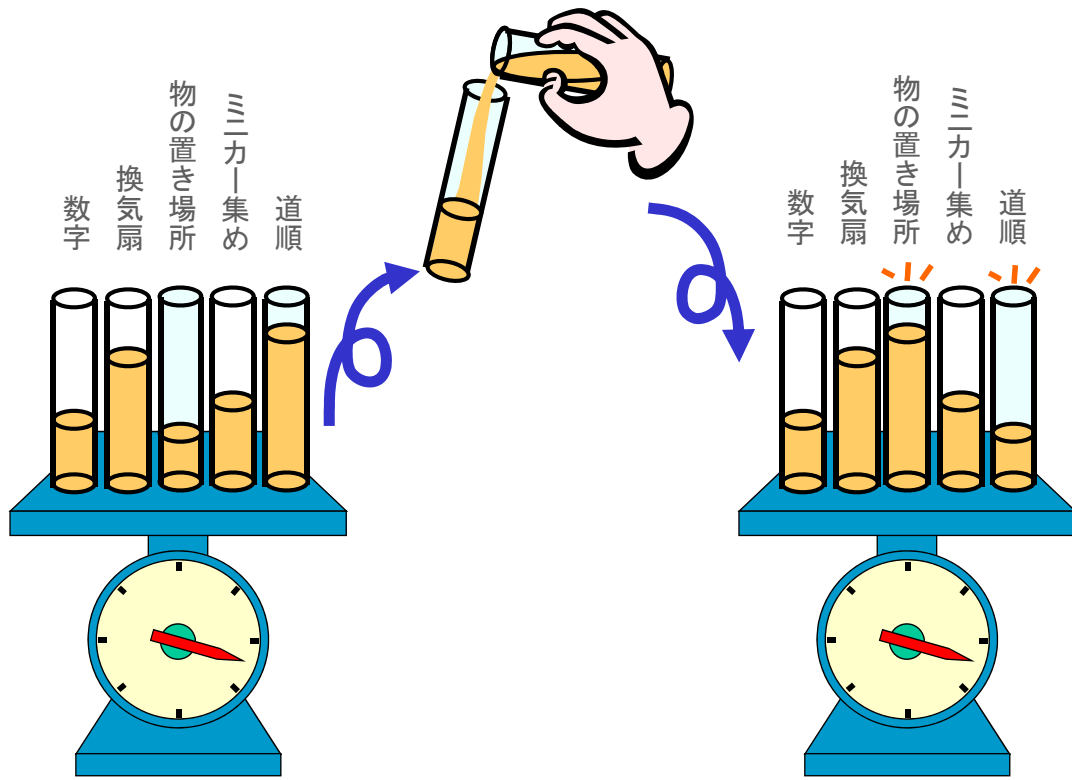
常同的な動作を繰り返す

興味をもった領域に関して膨大な知識を持つ  
(鉄道, 天文学, 地理, 生物, コンピュータ,  
インターネット, テレビゲームなど)

## 認知が発達する

すると…

## ‘こだわり’も発達する



## ‘こだわり’ 保存の法則

### 社会的行動の中に埋め込まれる「こだわり」

ルールや決まりごとを頑なに守る

他者にルールの遵守を強要する

一番になることにこだわり過ぎる

## 症状の軽さと社会適応の良さとは 必ずしも比例しない

冗談や皮肉を真に受ける

発言が一方的である

融通が利かない



仲間はずれやいじめの対象になることがある

不登校、ひきこもり、うつ状態、不安状態など、いわゆる  
二次障害を呈すると、その後の支援が困難になる

## 併存障害と二次障害

### 併存障害

ある障害と一緒に生じた別の障害

一次障害と環境要因との相互作用は不問

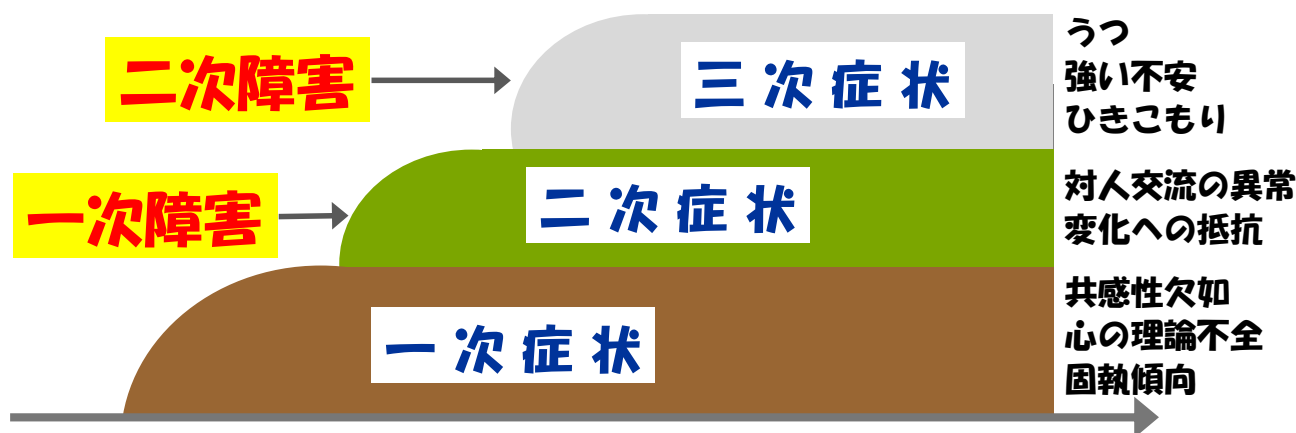
### 二次障害

ある障害の経過中に、二次的に生じた障害

一次障害と環境要因の相互作用の結果

## 併存障害 ⊃ 二次障害

## 症状の積み重なり



## ASは、反応性精神障害のハイリスク

### 素因として

変化に弱い, 不安をもちやすい, 誤解しやすい

### 環境因として

慢性的にストレスの多い環境に置かれやすい

## 「二次障害」いろいろ

### うつ

自信の欠如

悲観的

意欲の低下

集中力の低下

疲れやすい

不眠または過眠

## こだわりの減少

何ごとにも意欲を感じられなくなり、

熱中できる対象がどんどん減少していく

## 不安、恐怖

何かよくないことが起こるのでは、と常に心配

いつも緊張して気が休まらない

## 強迫観念, 強迫行為

### 強迫観念

何か特定の考えにとらわれて, 他の考え方ができない

### 強迫行為

何か特定の行動を最優先にしてしまう

## 逆説的高望み

元来のノルマ化の傾向が病的に強まった状態

「苦手な科目を克服するために大学進学して, その科目を専攻しなければならない」

「東大に入らないとまともな人間になれない」

## PTSD様症状

嫌な体験をしたときの感覚を突然感じ、パニック状態になる。

発達障害の人では、他の人からはショッキングにみえないような体験でも生じやすい。

## タイムスリップ現象（杉山）

記憶が時間軸に沿って整理されず、過去の嫌な体験が  
あたかも今ここで起こっているかのように、一度に想起される



## いじめ被害

いじめた相手が「いじめ」と思っていなくても、本人はいじめと思っていることが多い。

逆に、相手がいじめていても本人は気づいていないこともある。

## 不登校

不登校は、はじまりでなく、すでに結果である。

本人の特性に対して周囲に理解不足な人がいると、事態がこじれ、深刻化することがある。

## ひきこもり

家の中以外のすべての社会的場面に参加する意欲を

失った状態

## 他者への攻撃性, 暴力

本人からの自発的な攻撃や暴力はまれ

ほとんどは, 誰かからの攻撃に対する反撃

ただし, ごくまれだが暴力に対する異常な執着を形成することがある

## 反社会的行動

幼児期に虐待を受け、学齢期にADHD症状がある場合、  
思春期以降に非行や反社会的行動が出現する確率が  
高まる

## 触法行為

多動が強く、自閉症の特性が弱いほど、「普通」の非行  
ごくまれだが、自閉症スペクトラムの人で了解が難しい  
理由で触法行為を起こすことがある

## 被害関係念慮

被害的だが自責的なことが多い。

被害的かつ他罰的な場合、親もそのような性格傾向であることが多い。

## 解離

幼児期に激しい虐待の存在

過去の記憶がところどころ不鮮明あるいは消失

## 二次障害が出現する前兆

二次障害出現直前の前兆は、わかりにくい

しかし、

「この人には、いずれ二次障害が出現するだろう」ということは、専門家なら予測がつく

## 二次障害のハイリスク

本人の特性に対する周囲の無理解または無配慮

## 対人場面における失敗体験の蓄積

空気を読もうとして誤解釈 → 被害的対人態度  
他者の人格を「いじらない」 → 無関心・自信低下  
融通が利かない → 狭い関心

→ **さまざまなパーソナリティ障害と  
症状の重なり合いがある**

## ASDの人における不安

先の見通しがもてないことに対する不安が主

見通しがもてたとたん不安が氷解する

**ASDの成人には、  
どんな精神障害が生じ得るか？**

**論理的には、すべての精神障害が生じ得る**

**実際には、不適切な環境に対する反応が多い**